

## クラスの様子【10月号】

●ひよこ・りす組 **今月の目標** のびのびと身体を動かし、散歩や戸外遊びを楽しむ。

先月はお部屋の模様替えをしました。0歳児の午前寝のスペースやそれぞれのコーナーを仕切りで分けてわかりやすくし、子ども達がより遊び込める環境に設定しました。

その中で0歳児は1歳児の遊ぶ姿をジッと見て学び、刺激を受けているようです。また、1歳児は小さい子への接し方がわからずついぎゅっと体を触って泣かしてしまうこともあります。鼻水が出ている子にティッシュを持ってきてあげたり、おもちゃをそっと貸してあげたりする姿も見られます。そのような他者を思いやる場面が増えていくといいなと思います。

友達同士の関わりも増えてきて、その分トラブルにもなりますが、子ども達の気持ちに寄り添い、一人ひとりの思いに丁寧に向き合っていきたいと思っています。

お天気の良い日には散歩にでかけました。赤とんぼや彼岸花、赤ちゃんどんぐりを見つけたり、空を見上げるとうろこ雲が浮かんでいたり秋を感じることができました。

今月から5人のお友達が入園します。(早川)



●うさぎ組 **今月の目標** 秋の自然の中で身体をたくさん動かしたり、イメージすることを楽しむ。

いつの間にか季節はすっかり秋模様となりました。

先月の敬老の日にお月見をイメージしたハガキを製作しました。お月さまに関心を持っている様子だったので、お月さまには何が見えるかな？と、そんな話をし中秋の名月を楽しみました。すると、登園してきた子たちがそれぞれにイメージした動物を口にして、ゾウ、キリン、ネズミ、何ともかわいらしい発想でした。お休みの日にそれぞれ違う場所で同じ月を見上げていたことがすごく嬉しく感じました。毎日、顔を合わせる保育園以外の場所でもつながっている、そんな気持ちにほっこりしました。



9月はすっきりしない天気も多く、台風の爪痕もありました。先日の散歩でも、木が折れていたり鳥の巣が落ちていたり大発見しました。その鳥の巣を見て“たまごは？”とか、なぜかウンチがついていたので”オオカミのウンチやな”など子どもたちのかわいらしい発想がありました。毎日の生活の中での出来事を通して、イメージを豊かにしていけたらいいなと思います。そしてその中で好奇心を持ったり夢中になれるようなことを大切に见守っていきたいと思います。(矢下)



## クラスの様子【10月号】

●A・Bグループ **今月の目標** 秋の自然に親しみ、季節の移り変わりをを感じる。

過ごしやすい気候の中、戸外に出て沢山身体を動かして遊ぶ。

朝晩涼しくなり、夏から秋へと季節の移り変わりを感じられるようになりました。先日、園庭で年少児の女の子が木の実を拾い、保育士に「これ見て！目みたい！」と木の実を目に見立てて、地面に置いて楽しんでいました。その後、枝や葉っぱを鼻や口に見立てて顔が完成したので、段ボールにボンドで貼り付けました。それをきっかけに、翌日は秋の自然物を拾い、段ボールに自由に張り付ける壁掛け製作を活動に取り入れました。最初に自分で自然物を集めたのですが、「細い枝と太い枝使お！」「この葉っぱ付けたら秋っぽくなる」と子ども達は作る前から作品をイメージしているのが伝わってきました。又、製作はデッキで取り組み、6名ずつと人数を制限した事で「今はいっぱいやで、もう少し待ってからのしよ」と状況を自分達で確認したり、製作中に「その実どこにあったん？」と友だちに聞き、すぐに取りに行ける環境も良かったと感じました。今回は、一人の子が発見した遊びがみんなに広がっていくことが出来ました。これからも、こうして遊びが発展していけるような保育を、心掛けていきたいと思えます。



お散歩では、お散歩ビンゴを取り入れてみました。ただ歩くだけではなく、周りの景色を見たりいつもは気にしていない鳥の声や水の音等をビンゴの枠内に入れて、いつもより五感をフル回転させながら散歩を楽しみました。「見て見て！トンゴおった！」とビンゴの項目がクリアしていく嬉しさを友だちと共有し、楽しそうな子ども達の表情が見られました。

園周辺は、自然に囲まれとても恵まれた環境です。沢山自然と触れ合ったり、ライオン組が育てたお芋を掘ったりと、この時期ならではの体験を大切にしていきたいと思えます。(坂)

